

## 第200回友の会 宝ヶ池 観察会

### 卯月の宝ヶ池を歩く

日 時 2022年1月23日（日）

場 所 宝ヶ池

天 候 曇り後雨

参加者 一般10名（内こども4名）、スタッフ13名

こどもどろんこ園19名（大人6名、子ども13名） 合計42名

例年に比べて寒い日が続き、20日にはかなりの雪が降り、街中の雪は解けていましたが、宝ヶ池にはかなりの雪が残っていました。

地下鉄国際会館駅5番出口前に集合しスタートしました。集合場所のすぐ横にあるセンダンの木、下見の時はたくさんの実を付けていましたがほとんど無くなっており一週間の間に鳥に食べられたようです。タイサンボクの実を拾い、おしべの痕や花びらのついていた痕などを確かめました。アキニレとユリノキの種を探しました。アキニレとユリノキには翼果があり、アキニレは翼果の中心に種子があり、ユリノキは翼の下側に種子があります。翼果によって風で親木から離れた所へ運ばれるためですが、それらを飛ばしてみるとユリノキの翼果がプロペラのように舞い落ちるのがよく分かりました。

近くには丸い花芽をつけているゲッケイジュと青々とした葉をつけたクスノキがあり、両者の葉の香りを嗅ってみました。大きな実をたくさん残したモミジバフウやオオミノガのミノムシをたくさんつけている木もありました。

川沿いに幹がまっすぐに立ち整った三角形のカツラが見られました。カツラは雌雄異株で、雌木には小さいバナナのように湾曲した円柱状の袋果が見られ、袋果の中にはたくさんの種子が詰まっていた。他の場所では、根元から「ひこばえ」を出しているものもありました。

橋の近くに少ししなびた青色のアオツツラフジの実があり、ツルを手元に近づけ実を取り果皮をむくとアンモナイトに似た種が出てきました。

宝ヶ池に向かう道の斜面にコナラがたくさんあります。一本立ちの木も多いですが、中には根元から二本、三本に分かれている木が多くありました。根元から分かれている木は、1960年代以前に薪炭としてコナラやクヌギを利用され、伐採された木です。伐採された木は切り株からたくさんの新しい芽が伸び、ある程度大きくなった萌芽の2~3本を残して成長した木です。



宝ヶ池集合 点呼



ユリノキの観察



ユリノキの実を観察

樹液を出す若い木や木が別れているところにある洞にクワガタムシやカブムシがよくきたものです。

宝ヶ池に向かう道から「桜の森」の小道に入ったところでアセビが花を咲かせていました。この辺りは鹿による食害が目立ちました。アセビは漢字で「馬酔木」と書きますが、緑草の乏しい早春や飢饉時に馬などが摂食して、流涎、嘔吐、けいれん呼吸及び全身麻痺した様子に由来するように強い毒を持つ植物です。

小道沿いにはナマズ顔のトサミズキの実、ヤマモモの幹に鹿の角のとき跡がありました。雪もたくさん残っており、子ども達が雪の当て合いをしていました

広い道にもどり池に向かっている途中に、葉が落ちていないヤマコウバシや花を咲かせているモチツツジがありました。

池にはたくさんの水鳥がいました。くちばしから額にかけて白いオオバン、頭が緑色になってくちばしが黄色で先が黒色なのがマガモの雄、雌はくちばしが黒色で周囲がオレンジ色です。マガモはアヒルの原種です。頭が茶色で体が灰色なのがホシハジロです。水鳥を見ながら「野鳥の森」まで歩き、昼食を摂りました。野鳥の森のテーブル上には10cm程度の雪が積もっていました。

店開きは、種子散布についてクイズ形式で行いました。種子の散布の役割の解説があり、参加者から散布の仕方を出してもらい、解説を加えました。

- ① 風による散布 種子や果実にも毛があるもの、翼があるものが風の力によって散布される。
- ② 動物による散布 主に鳥に食べられ糞として排出されるもの、動物に付着するもの、アリによるものなど動物の移動する力を利用して散布される。
- ③ 水による散布 水に浮き流れて移動するもの、雨粒が当たって種子を飛び散らす。
- ④ 自力散布 実が縮んで裂けたり、反り返ったりする反動による力によって種子を散布する。
- ⑤ 重力散布 重力方向に落下する。

次に折り紙とクリップを使って翼のある種子の模型をつくり、どのように飛ぶか実演しました。こども達が何度も試していました。

こどもどろんこ園の参加者と「友愛の広場」で別れ、池に沿って行くと、貸しボートの近くで10羽以上のトビが飛んだり、枝に止まったりしていました。餌も売っており餌を求めての行動と思われます。

最後に「菖蒲園」で雄のオシドリがいました。木の株の割れ目で休んでいましたが色鮮やかな姿でした。近くの枝にはカワセミもおり姿を双眼鏡で追いました。

新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が流行り、気温も低い1日でしたが、子どもの歓声を聞きながらの楽しい観察会でした。(梅田)



雪ウサギ



店開き



タイサンボクの観察



親に抱えられて模型の種を飛ばしてみました



何を観察しているのかな



池のほとりで昼食



子供たちは元気いっぱい